

「交通労働災害防止のためのガイドライン」(平成20年4月3日付け基発第0403001号別添)の新旧対照表

| 改 正 後   | 改 正 前  |
|---|--|
| <p>第3 適正な労働時間等の管理及び走行管理の実施</p> <p>3 点呼等の実施及びその結果に基づく措置</p> <p>(1) 点呼等の実施</p> <p>事業者は、安全な運転を実施させるため、<u>運転業務従事者</u>に乗務を開始させる前に、点呼等により、<u>疾病、疲労、睡眠不足</u>、飲酒その他の理由により安全な運転をすることができないことのおおそれの有無について報告を求め、その結果を記録すること。</p> <p>また、事業者は、乗務開始前24時間における拘束時間の合計が13時間を超える場合、睡眠時間の状況を確認すること。</p> <p>なお、点呼は対面によるものとするが、運行上やむを得ない場合は電話その他の方法で実施して差し支えないこと。</p> | <p>第3 適正な労働時間等の管理及び走行管理の実施</p> <p>3 点呼等の実施及びその結果に基づく措置</p> <p>(1) 点呼等の実施</p> <p>事業者は、安全な運転を実施させるため、<u>運転業務従事者</u>に乗務を開始させる前に、点呼等により、<u>疾病、疲労、飲酒</u>その他の理由により安全な運転をすることができないことのおおそれの有無について報告を求め、その結果を記録すること。</p> <p>また、事業者は、乗務開始前24時間における拘束時間の合計が13時間を超える場合、睡眠時間の状況を確認すること。</p> <p>なお、点呼は対面によるものとするが、運行上やむを得ない場合は電話その他の方法で実施して差し支えないこと。</p> |



# 平成29年 労働災害発生状況

平成30年5月30日

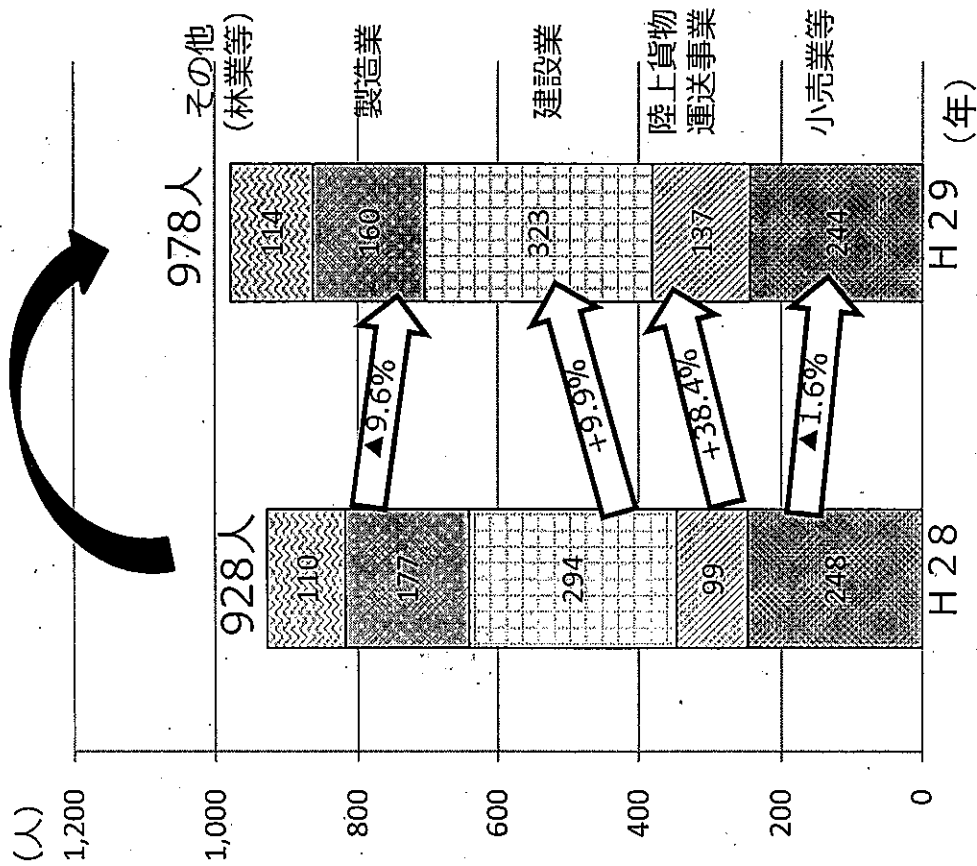
厚生労働省労働基準局

安全衛生部安全課

# 平成29年 労働災害発生状況 (確定値)

死亡災害

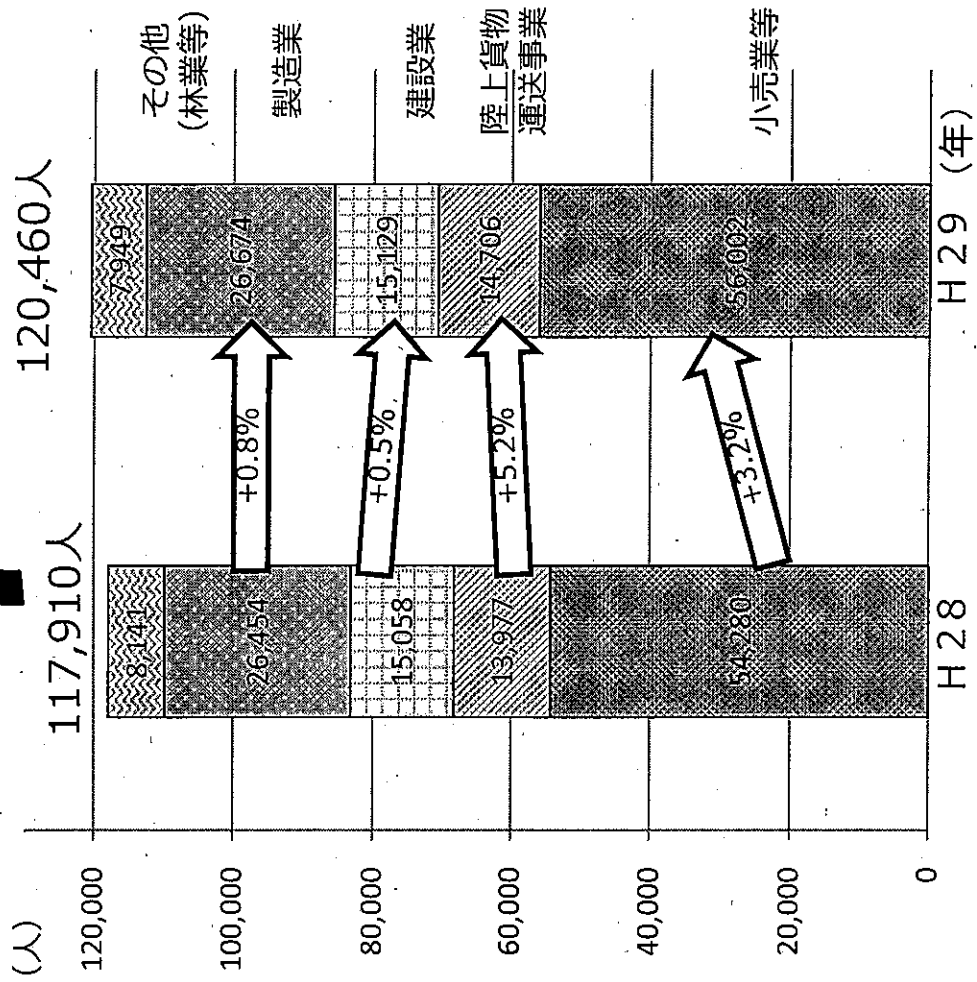
+50人(+5.4%)



出典：死亡災害報告

休業4日以上の死傷災害

+2,550人(+2.2%)

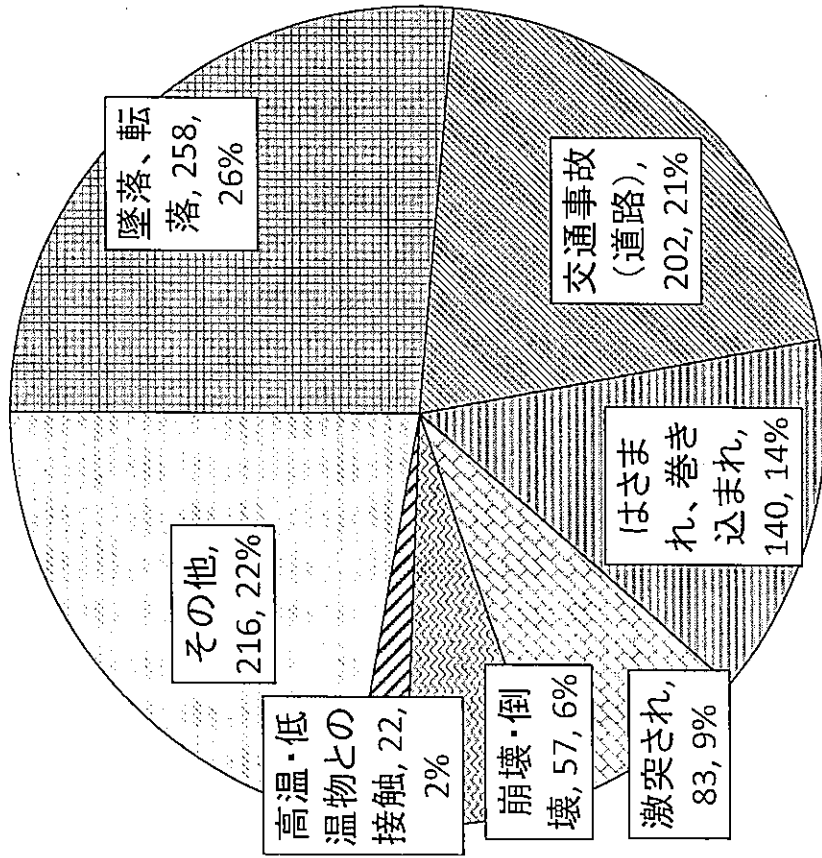


出典：労働者死傷病報告

# 平成29年事故の型別労働災害発生状況(確定値)

## 死亡災害

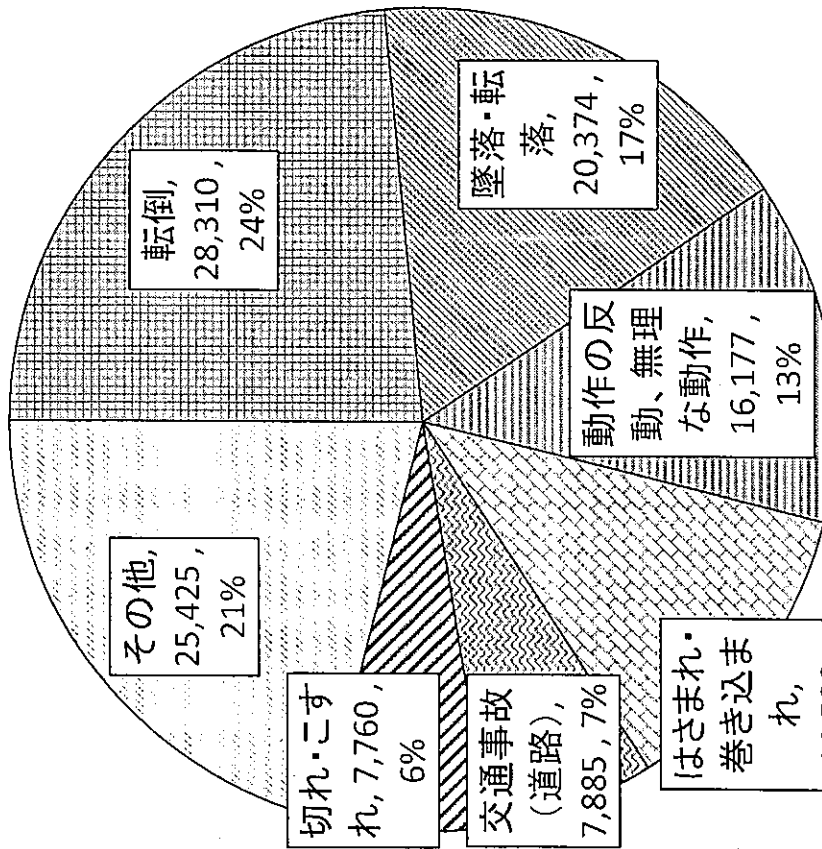
978人、前年同期比+5.4%



出典：死亡災害報告

## 休業4日以上之死傷災害

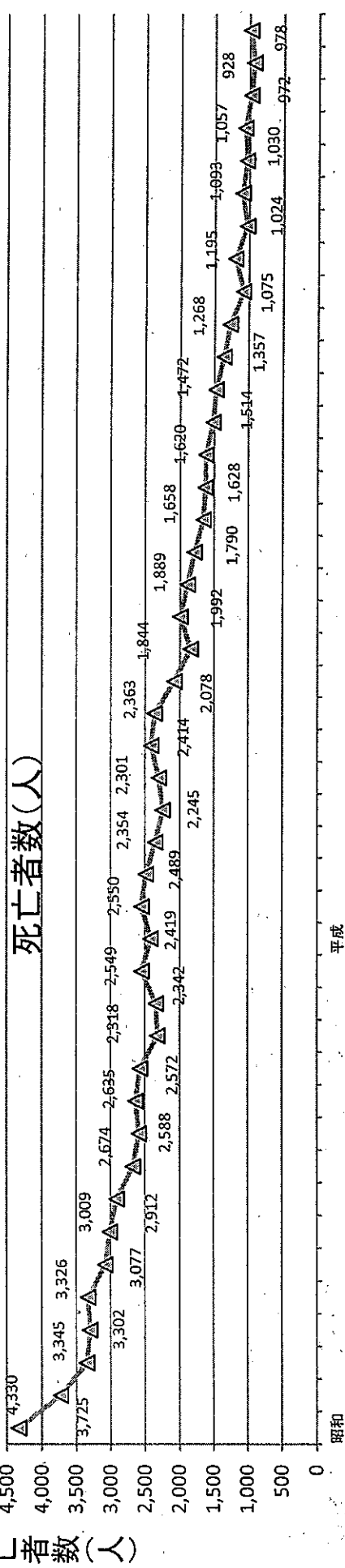
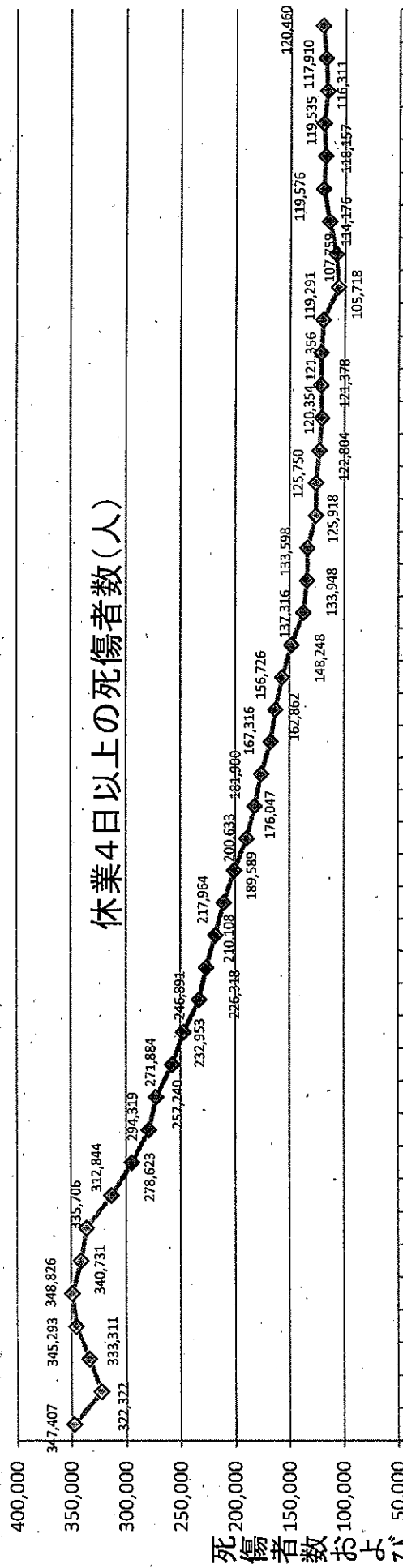
120,460人、前年同期比+2.2%



出典：労働者死傷病報告

# 労働災害発生状況の推移

- ・ 死亡者数は、長期的には減少傾向にあるが、3年ぶりに増加した。
- ・ 休業4日以上の死傷者数は、陸上貨物運送事業や第三次産業で増加するなどして、2年連続で増加した。



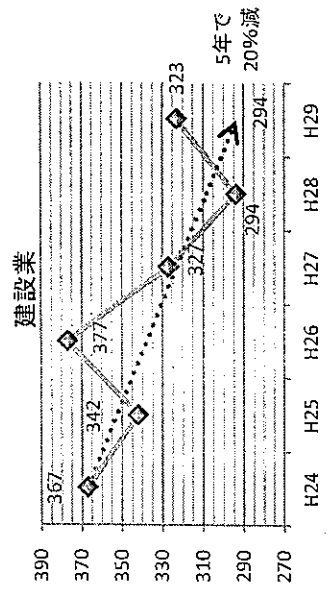
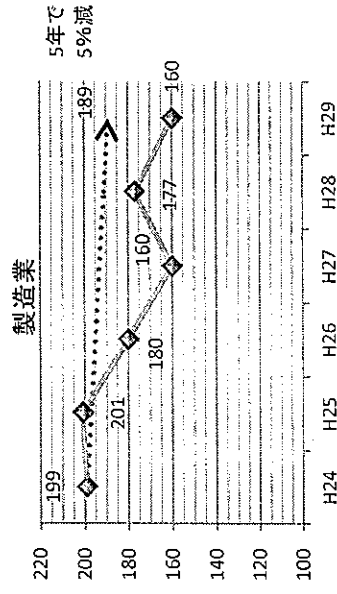
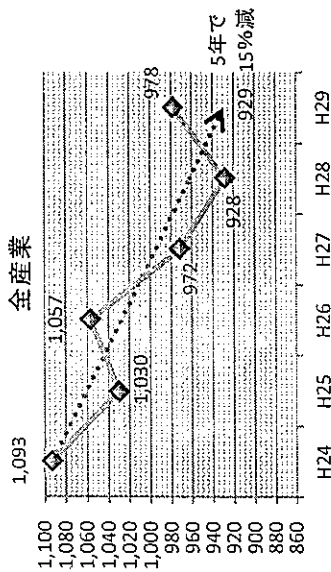
出典:平成23年までは、労災保険給付データ(労災非適用事業を含む)、労働者死傷病報告、死亡災害報告より作成  
平成24年からは、労働者死傷病報告、死亡災害報告より作成

# 第12次労働災害防止計画に関する状況(平成29年確定値比較)

【目標】○ 平成29年までに、労働災害による死亡者数を15%以上減少させる(平成24年比)  
 ○ 平成29年までに、労働災害による死傷者数を(休業4日以上)を15%以上減少させる(平成24年比)

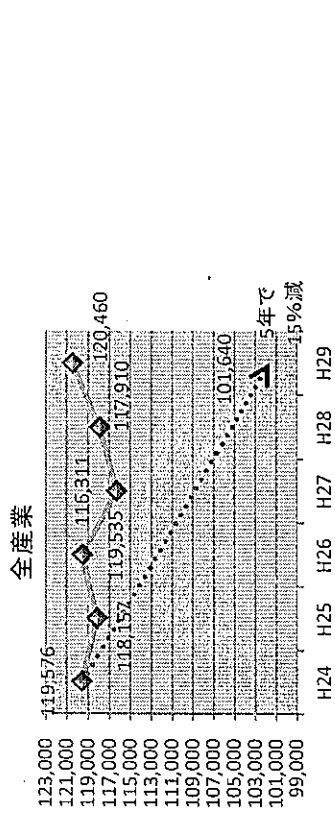
## 死亡災害

- 平成24年よりも10.5%減少
- 製造業は同19.6%減少
- 建設業は同12.0%減少

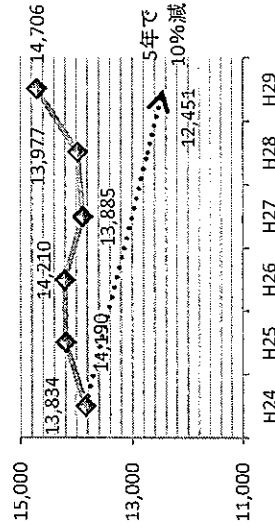


## 休業4日以上の死傷災害

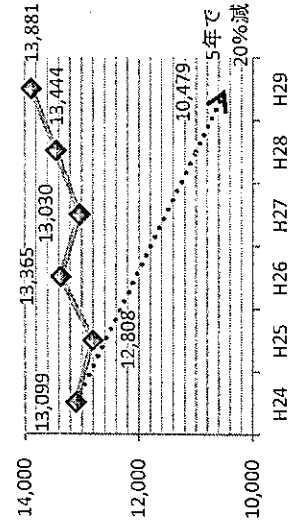
- 平成24年よりも0.7%増加
- 陸上貨物運送事業は同6.3%増加、小売業は同6.0%増加
- 社会福祉施設は同34.8%増加、飲食店は同7.9%増加



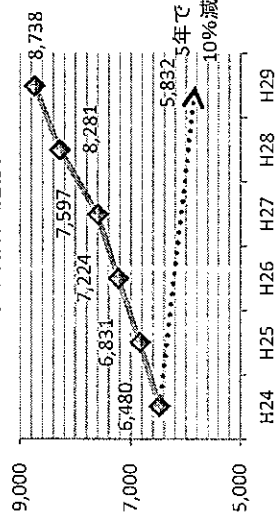
## 陸上貨物運送事業



## 小売業



## 社会福祉施設



## 飲食店

